

2026年6月18日
商工中金

外食事業をはじめ多角的に事業展開する株式会社ルーキーファームに対し、 ポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）の帯広支店は、株式会社ルーキーファーム（本社：北海道帯広市、代表者：加藤 祐功）に対し、サステナブル経営に必要な資金として1億3,000万円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、レストラン等の外食事業やベーカリー、音楽スタジオの運営など、多角的に事業を展開しています。自社ブランドの飲食店では、地元産食材を積極的に活用した商品を提供しています。

今回同社は、空調設備の切替えによる化石燃料使用量の抑制の取組みや、働きやすい職場環境整備の取組み等を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

(注)同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社ルーキーファームの概要】

所在地	北海道帯広市西5条南34-12
代表者	加藤 祐功
資本金	5,000万円
従業員数	450名（2026年2月時点）
設立	1978年10月
業種	飲食業、小売業、乳製品等卸売



【自社ブランド飲食店舗】

(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして㈱日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

